

読譜視線計測に基づく演奏ミスの改善 — 高齢者ピアノ学習を中心として —

現代人間学部 こども教育学科
准教授 **古庵 晶子**

研究種目： 基盤研究(C)
研究期間： 2023年度～2025年度
研究分野： 教育学



前回の科研費研究で明らかとなったのは、高齢者の演奏ミスの理由として「楽譜における視線移動の不安定さ」「確認過多と読譜ミス」などがあるということである。また、大学生との比較においては、音符の「周辺視」が得意ではないことがわかった。このように楽譜上の視線の動きの分析を進めていくなかで、どのタイミングで鍵盤のどこを見ているのかについても分析することが重要となってきた。そのため本研究では、新たな実験システムを使用してデータを採取し直すことにした。同等の演奏能力を持つ若年成人との比較を進めることで、高齢者の演奏特質を明らかにし、保育・教職課程のピアノ初心学生への指導にも役立てることが出来ると考えている。被験者を増やして、一つひとつのミスをつぶさに検討・分析する予定である。

主な著書

- 1)「日本におけるシニアのピアノ学習研究について」日本音楽表現学会『音楽表現学』vol.6
- 2)「高齢者のピアノ学習におけるつまずき—運指についての考察」関西楽理研究会『関西楽理研究』35
- 3)「高齢者のピアノ学習—演奏が止まるというつまずきの様相—」関西楽理研究会『関西楽理研』37
- 4)「高齢ピアノ学習者における演奏のつまずきと視線の関係—演奏動画の分析より—」関西楽理研究会『関西楽理研究』39
- 5)「視線情報と打鍵情報から見たピアノ演奏ミス—高齢者と若年成人の比較に向けて—」関西楽理研究会『関西楽理研究』40



京都ノートルダム女子大学
研究推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793
電子メール：kenkyu@ml.notredame.ac.jp